

熊本市歯科医師会会誌

第 53 号



昭和60年度 熊本市歯科医師会代議員会
第9回バレーボール大会

表紙の写真 “初秋の仏国寺、

市広報委員 寺脇 博

目 次

昭和60年度熊本市歯科医師会代議員会	2
第9回バレーボール大会.....厚生委員会.....	3
歯科医師のための救急蘇生法.....成松 賢二.....	16
社保症例研究.....社保委員会.....	18
本日休診「写真同好会」.....中川 順一.....	20
勉強部屋「前歯部反対咬合の難易度の見分け方」.....池上 富雄.....	23
新樹会第3回例会.....合沢 康生.....	30
東部Ⅲ支部親睦旅行.....松原 邦衛.....	31
お知らせ.....	32
新入会員紹介.....	33
会務報告.....	36
編集後記.....	37

昭和60年度 熊本市歯科医師会代議員会

去る9月26日PM7:30、県歯科医師会館3Fホールにて、昭和60年度市歯科医師会代議員会が行われた。

川崎会長の挨拶後、岩本義人先生を議長に、議事録署名人に千場正昭、田中宏両先生を選出し、会務報告、庶務報告が鈴木専務理事よりなされた。続いて昭和60年度歳入歳出現況が宇都宮常務理事よりなされ、山隈監事より監査報告がなされた。

次に(1) 昭和59年度熊本市歯科医師会決算書

(2) 昭和59年度熊本市歯科医師共済会決算書

(3) 昭和59年度職員積立金決算書

(4) 昭和59年度基本財産積立金会計の承認を求むる件

が議事題とされすべて承認された。

引き続き協議に入り歯科医師数増加にともなう諸問題、各支部間の連帯、支部割りの問題、等が議員より活発なる意見交換後PM9:00に閉会した。

庶務報告 S 60.9.26現在

1. 現在会員数	261名
一般会員	213名
親子会員	14名
終身会員	29名
勤務会員	2名
特別会員	3名

2. 入会者

年前年度末 S 60.3.2	橘 俊光	熊本市八王寺町878-1	ディファニー八王寺 2 F
3.30	竹 田 敬幸	"	下南部町517-15
今年度 S 60.4.15	中 西 久人	"	健軍3-50-19
4.17	西 口 和弘	"	長嶺町783-6
4.27	川 原 雄次	"	新屋敷2-2-11
6.2	有 吉 洋	"	保田窪本町895-35
7.6	大 村 順子	"	竜田町上立田1473-3 楠歯科クリニック
7.27	井 尾 治雄	"	高江町1250-19 高江歯科医院
7.29	真 鍋 嘉之	"	栄町1-12
7.31	杉 村 聡子	"	本荘3-7-18 杉村病院
8.2	川 元 幸雄	"	上熊本3-19-21
8.10	前 野 正春	"	清水町新地701の53
8.17	文 野 知滋	飽託郡北部町西梶尾474の2	

3. 物故者

S 60.6.12	竹 田 幸輔	熊本市上通町10-15
7.6	岩 坂 正亀	" 横手1-8-57

4. 退会者

S 60.4.24	北 克 己	熊本市下通2-3-1
4.30	高 橋 淳二	飽託郡北部町西梶尾474の2

5. 総合病院(特別会員)代表歯科医変更

御幸病院	笹原 慎一郎	→	武田 英雄
杉村病院	矢島 裕子	→	杉村 聡子 (一般会員に変更)

第9回、バレーボール大会開かる

中央A 優勝旗奪還!!

梅雨の晴れ間の7月7日（日）東海第二高校体育館にて、11支部12チームによるバレーボール大会が、開催された。

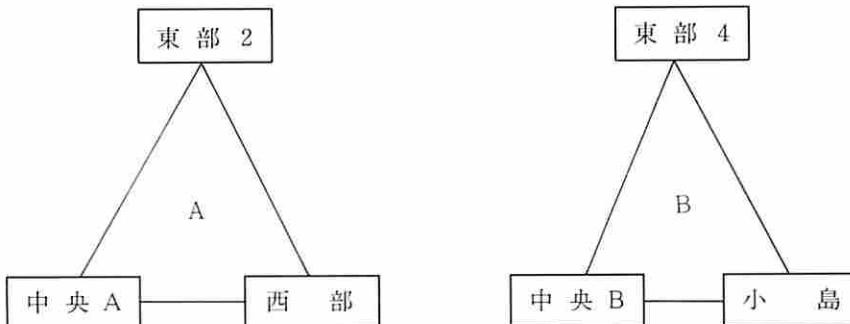
午前9時すぎ、有吉啓一委員長の司会に始まり、川崎正士会長の挨拶後、昨年の優勝支部、東部2（椿幸雄先生）より優勝旗の返還が行われた。

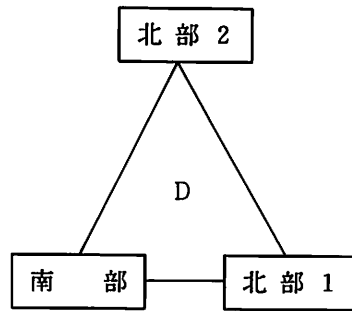
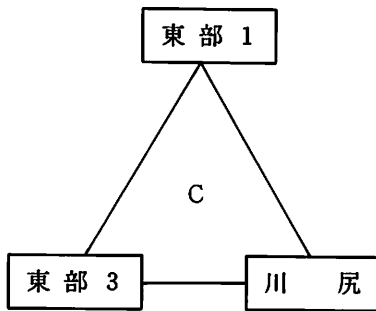
続いて、菅原洋理事により「熊本市歯科医師会バレーボールルール」等の説明があり、予選リーグの組合せ抽選会に移った。

東部3の西口和弘先生の力強い選手宣誓でいよいよプレーが開始された。



〈予選リーグの組合せ〉





〈予選リーグ結果〉

A	中央A	東部 2	西部	
中央A		① 8-15 ② 15-13 ③ 18-16	① 15-5 ② 15-7	2勝0敗
東部 2	① 15-8 ② 13-15 ③ 16-18		① 15-13 ② 15-9	1勝1敗
西部	① 5-15 ② 7-15	① 13-15 ② 9-15		0勝2敗

C	川 尻	東部 3	東部 1	
川 尻		① 15-8 ② 15-12	① 15-5 ② 15-5	2勝0敗
東部 3	① 8-15 ② 12-15		① 15-11 ② 15-7	1勝1敗
東部 1	① 5-15 ② 5-15	① 11-15 ② 7-15		0勝2敗

B	中央B	東部 4	小島	
中央B		① 15-8 ② 13-15 ③ 15-13	① 15-9 ② 15-9	2勝0敗
東部 4	① 8-15 ② 15-13 ③ 13-15		① 15-11 ② 15-12	1勝1敗
小 島	① 9-15 ② 9-15	① 11-15 ② 12-15		0勝2敗

D	北部 2	北部 1	南部	
北部 2		① 15-11 ② 15-7	① 13-15 ② 15-11 ③ 15-4	2勝0敗
北部 1	① 11-15 ② 7-15		① 6-15 ② 15-11 ③ 15-10	1勝1敗
南 部	① 15-13 ② 11-15 ③ 4-15	① 15-6 ② 11-15 ③ 10-15		0勝2敗

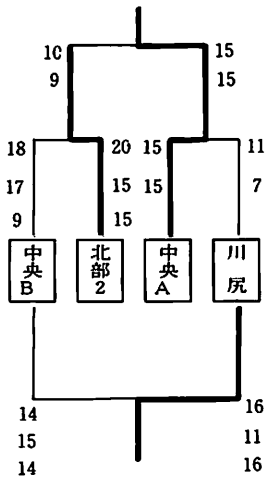
①第一試合 ②第二試合 ③第三試合

昼食後、乳幼児、小学生らによる恒例の、バレーボールを使った「缶ジュース倒しゲーム」が行われた。

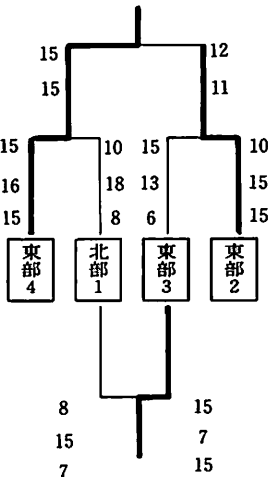
その後、決勝戦が開始された。

決勝組合せ、および結果

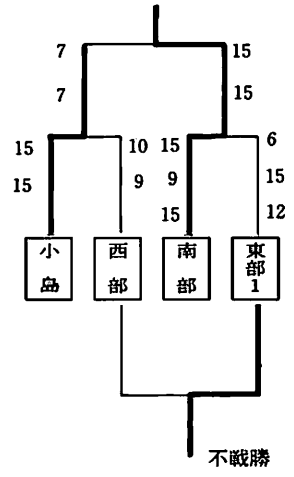
I (2勝0敗チーム)



II (1勝1敗チーム)



III (0勝2敗チーム)



順位	優勝	中央A	5位	東部4	9位	南部
	準優勝	北部2	6位	東部2	10位	小島
	3位	川尻	7位	東部3	11位	東部1
	4位	中央B	8位	北部1	12位	西部

個人賞

	優秀選手賞		敢闘賞	
	氏名	氏名	氏名	氏名
中央 A	有田俊昭	川崎歯科勤務医	米沢隆	斉藤歯科従業員
B	後藤由紀子	斉藤歯科従業員	長松千春	元島歯科従業員
東部 1	川原雄次	会 員	田島宗穂	会 員
2	東正也	椿歯科勤務医	村上和子	椿歯科従業員
3	西口和弘	会 員	如田純一	出口歯科従業員
4	広瀬真由美	片山歯科従業員	佐々木節子	中西歯科従業員
北部 1	梅尾あゆみ	中根歯科従業員	稲葉逸郎	会 員
2	友枝和夫	会 員	岡田長久	伊東歯科勤務医
南部	鬼塚友文	会 員	野母紫	冨田歯科従業員
西部				
小島	古江美津子	井上歯科従業員	馬場美代子	奈良歯科従業員
川尻	富岡浩雄	会 員	吉良高明	久保田歯科従業員

(敬称略)

午後3時半すぎ、成績、個人賞および特別賞（東部2、東部3、南部の各支部）の発表があり、表彰式後、山室紀雄副会長の閉会の挨拶があった。

最後に各支部長先生、各会員の先生、審判員の方、また東海第二高校、賛助団体各位の御協力に感謝いたしますと共に、紙面にて、御礼申し上げます。

参加チームの顔

皆さんノお疲れ様でした。社会人になって、1年経ち初めてこのバレーボール大会に出ました。

大会までに何日か練習をしましたが、初日の練習の翌日は、手足が痛くて、仕事をするのが大変でした。自分自身では、まだ若いと思っていましたが、いかに運動不足かを、知りましたが、何回か練習を重ねる度に、ようやく痛みもなくなり思い切って体を動かして練習ができ、この大会に望む事ができました。

大会では、セッターをやらせてもらいましたが、最初の試合では、すっかり上がってしまって、なかなか思い通りトスを上げる事ができず、迷惑をかけましたが、先生の大きな声で、「ガンバルゾー」って言われて、ハッ！と目がさめて、気合が入り、皆と一緒にプレイが出来、はじめて、この試合に勝ちました。

（厚生委員会から）

昭和52年から始まった親睦バレーボールも来年で10回目を迎えます。

これを機に、今回は会員皆様の御意見をもとに、さらに楽しい親睦会にできたらと委員会では検討中です。

御意見がございましたら、委員会まで御連絡いただければ幸いに存じます。

（厚生委員会 山村定信）

中央部 齊藤齒科 後藤由紀子

二試合目も、勝ち進み、三試合目、北部2とは、接戦で、負けてしまいました。

四試合目、川尻とで、練習試合の時は勝ったのに、三試合目の疲れが出て皆んなの動きも悪くなり、それにも負けてしまい、結局四位になりました。

中央Aチームは、優勝とすばらしい成績、でした。今回は、私たちBチームも、きっといい成績になる様に、頑張りたいと思います

最後に、今この大会で思うことは、多くの人と、知り合った事、又、皆なと一つの事を一団となって、力を合せ、一つの目標に向けて全力を尽したことは、社会人として、まだ未熟な私にとって、大きな価値を得ることができました。

そしてこれからの人生にいろんな困難な、



去年の無念を晴す

問題がぶつかった時は、逃げず、レシーブ（受けとめ）し、アタックする精神で頑張り



ガンバッタ顔！

ます。又この様な大会が一年に一度ではなく2回ぐらいあればいいと思います。

東部2 椿歯科勤務医 東 正也

我が東部2は、何ととっても予選第一戦（対中央A）で躓いたのが痛かった。第一セット15対8で得たままでは良かったのだが、第二セット13対15、そして第三セット16対18で落としてしまったが好試合の一つではあった様に思われる。西部には勝ち、決勝リーグⅡでは東部3をなんとか押し切った。最後の対東部4戦では、後半粘ったものの、結局割とあっけなく負けてしまった。疲れもあったのだろう。

今年見た限りでは、中央A、北部2が安定した力を持ち、他チームを頭一つリードして

いるようである。雪辱は容易な事ではないようだ。来年はもっとお手柔らかに願いたいものだ。



連続Vならず！ 実力ナンバーワン

西部支部長 栗原幸紘

本年度の大会は、前日に、我が支部の重鎮岩坂正亀先生の御逝去という悲報にふれ、全

員、御冥福を祈りながら悲しみのなかで試合にのぞみました。

例年は、支部会員に若干の先生が少なしにもかわらず、4位前後の成績を残し、練習も積んでいましたので、岩坂先生の追悼のためにもと元気を振り立たせて健闘しましたが、訃報の影響は、如何ともし難く、また告別式出席のための不戦負けもあり、心ならずも最下位に終わってしまいました。

しかし、来年こそは捲土重来を期して練習に汗を流し上位進出を狙いたいと思っています。



岩坂先生の御逝去の為途中棄権

東 部 4

今回のバレーボール大会は思った以上にコート内はもちろんの事、応援席の方も盛り上がっていて、どのチームにしても活気に満ちあふれていてとてもよい大会だった様に思います。

試合の結果がどうであるにしてもいろんな歯科関係者の人達が、1つのチームを作りそしてみんなが同じ目標を持ち一致団結して頑張るなんてめったに出来る事ではないので本当に今回の大会に参加させて頂いた事にうれしく思っています。

又、知らず知らずの間に運動不足になっている体が、思った様に動いてくれず気をもんだ場面も少なくはなかったのですが、しかし

久しぶりに汗をかき大きな声を出した事ではないふんと運動不足解消になった様です。

本当に楽しい大会でした。



過去の栄光は今いづこ /
(支部の先生方もっとコミュニケーションを)

小 島 支 部 赤 城 公 徳

7月に市のバレー大会が行なわれましたが、我々小島支部も出場しましたが、何せ開業したての先生方が多い為3~4件の医院からし

か参加がなかった様です。それと支部構成が市内をはさんで小島、天明、飽田、河内、北部となっている為なかなか練習場をきめかね

まして、中央支部と南部支部の先生方と一緒に練習させていただきました。ありがとうございました。又バレーにくわしい人が少ない為中央支部の元島先生にアドバイスをお願いいたしました。来年は、もう少し各医院の先生方に多く参加してもらい今年より少しでも良い成績が残せる様に努力したいと思います。



赤城新支部長のもと本年も元気一杯ガンバリました

川尻支部長

伊藤友己

第9回バレーボール大会も終り、暑い中での練習から解放され、ホッとしている毎日です。今年は「祝優勝川尻支部、のたれ幕を体育館にかかげる事を目標にしてきましたが、残念ながら又、来年に夢をたくす事になりました。しかし、単独チームとして会員数の少ない川尻チームは、そのハンディにも負けず、出場者の努力と気力の結果、堂々の上位入賞が出来ました。又、週2回の練習を通して、支部の会員及び従業員の交流も活発になり、親睦と団結という目的は十分に達せられたと思います。

今年は念願の打倒中央の一角、中央Bチー

ムにフルセットのうえで勝利を収め、来年への期待がさらに広がりました。

来年こそ栄光を我らの手に



念願の三位達成

東部 3

西口和弘

私は今年四月、歯科医師会に入会させて頂きました。従って、この大会出場も最初の経験でした。高校時代はラグビー部に所属して

おりましたので、バレーボールには縁がなく中学のクラスマッチの折々に試合に出た、という極めて薄い記憶しか残っておりません。

それも中衛のセンターをやらされて手を痛めた苦い経験があり、バレーボールに対してはいささか近づきたい気持ちを持ち続けてきました。今回の大会もいづらか懸念はありましたが、前衛の左という願ってもないグッドポジションが与えられた事に多少の自信も、よみがえってきました。前衛センターの宮本君が挙げるトスをできるだけ確実に、そして角度をつけてスパイクすればいいのだからと、自己暗示をかけたつもりでしたが、私の不得意とする中衛のセンターは、如田君が、実に見事にこなしてくれたおかげで、第1試合の田島先生率いる東部1との試合は無難に乗り切れました。ひとつ勝ったという快い気分です。第二試合、川尻との試合を迎えました。もしかして好調の波に乗り、二勝目を、と意気込みましたが、さすがに二匹めのドジョウはいませんでした。かくして午前中は、一勝一敗で終わり、午後の決勝トーナメントⅡへと駒を進めることになりました。抽選の結果、相手は東部2、リードしたり逆転されたりとの接戦の末、ついに我がチームは敗北の涙。決勝トーナメントとなると、そう簡単に「勝ち」をゆずってもらえません。続く最後の試合は、敗者同志の試合で北部1との対戦。さすがに両チームとも疲れがみえだし、動きも悪くなりましたが、自他共に気力をふりしぼり、本来のリズムをとり戻そうとあせりました。

そして何とか2対1で勝利をわがものにする事ができました。結局、総合7位で今大会を終ることができました。最後の試合に勝つことができ、我がチームにとって後味のよい結果となったことは喜ばしい限りでした。チーム全体の力がひとつに統合され、ひとつのボールに集中できたことは何と意義深いことでしょうか。平素は、それぞれの生活を営む者同志が、ひとつの目標に向ってまとまり全力で没頭できた今日の一日は何と素晴らしい一日だったことか。そして私の力が、ささやかながらもチームに貢献できたという満足感が夕食前のビールの味と重って、私ののどをここちよく潤してくれました。私の明日からの鋭気を養ってくれることうけあいです。来年は、勝ち星をもうひとつふやしたい！

いや、ふやしてみせるぞ!!

最後に……皆様どうもお疲れ様でした。足腰の痛み如何でしたか？



堀川支部奮起 若手会員のもと特別賞に輝く

第9回熊本市歯科医師会バレーボール大会に東部1支部で参加して4試合中3敗1不戦勝という、カガヤカシイ成績をおさめました。地区の先生方に大変申しわけなく思っております。しかし私達が全勝するということは、他のまじめに何度も練習されたチームに対して御無礼でもありますから、あえてミスレシーブやタッチネットをしただけです。

会員及び家族従業員の親睦をモットーとする云うならば平和的友情のチームであります。思いおせば第1回より今回まで毎年練習のしすぎで今回は優勝だと意気込んではみても若手会員が少なく私もいつの間にやら40代の現役となりました。今年は川原先生(29才)も参加してくれました。まだ実力を充分発揮出来ず今後が楽しみなチームです。当日坂梨支部長に祝勝会を催していただき次回への闘

志を新にしました。此所でよびかけですが東部1支部はゴルフに於てはかなり良い線をつくとは思いますが何時かゴルフの好きな支部がありましたら我々の挑戦をうけて下さい。上位5人ずつの団体戦でグロスでもネットでも結構です。

バレーボールの敵はゴルフで。



新入会員川原先生を加え本年も一致団結

今年度こそ優勝を勝ちとるべく、チーム全員アクティブディフェンスをモットーに練習に邁進した積りですが、残念ながら今年も元島先生の中央Aチームに優勝戦でストレート裡に敗退して終わりました。然し三年連続ベスト2を維持する事は実は容易なことではなくそれなりにチーム全員が精進敢闘し続けた輝かしい成果に他なりません。本年度から新戦力として参加した奥田洋実先生、岡田長久先

生(伊東歯科、敢闘賞)友枝和夫先生(優秀賞)藤田千鶴子さん、甲斐睦美さん(伊東歯科)の敢闘ぶりは目を見張るものがありました。バック全員がレシーブとなり、サーブレシーブでガッチリ受けとめ、パスしたボールをアタッカーの岡田先生、立花泰裕先生(伊東歯科)に送り得点を重ねるフォーメーションプレイこそが北部IIチーム勝ちパターンです。伊東隆利先生のサーブも時には勝負の流れを

変える冴えがあり、レシーブの擦い雨腕を頭上にかざす独特のスタイルが印象的でした。レシーブの種々のスタイルの中で特に目を引く方に、嵐史彦さん（伊東歯科）井本栄子さん（渡辺博歯科）が素晴らしいプレイを披露して呉れました。南部チームとの第一戦は2-1で勝利をものにし、北部Iチームとの第二戦も同じく2-1で勝ち進み、第三戦の中央Bチームとの準優勝戦へ突入しました。相手の中央Bチームは戦う前から自他共許す優勝候補チームですから負けて元々と云ったりリラックスした平常心で相対したわけですが、白熱したシーソーゲームを展開、特に第2セットでは何回もジューズゲームを繰返し、やっとの思いで中央Bチームを2-1で退けて優勝戦に臨むことが出来ました。元島先生の

中央Aチームの対戦では中央Bチーム戦で戦力を消耗し尽したせいか、見事ストレートで敗退して終わりました。然しながら来年こそは必ずや優勝トロフィをものにしようと、チーム全員で誓った次第です。



連続2位、友枝、奥田先生の加入でフレッシュ！

北部第1支部 田中宏

私達が住んで居ります北部第一支部は熊本市内の北部に在り国道3号線から西側に位置しています。現在18名の会員が居りますが17名が開業医として地域医療に活躍して居ります。

先ず会員を御紹介しますと歯科医師会館の近くの広町には上田正澄先生、坪井横町通りには堤直文先生、仁王さん通りには大嶋健一先生、国道3号線の藤崎宮通り交差点から浄行寺の方へ北上し左沿いに青木道育先生が居られます。この通りは秋の藤崎宮大祭の神幸行列が通り、とても賑います。更に国道3号線を北上して左沿いに行きますと北熊本に藤

波好文先生、更に北上して左沿いに行きますと清水町山室に緒方敏克先生が居られます。此の地点を右折しますと菊池方面に行きます。ここを北上しますと四方寄の交叉点に出て市役所方面からの旧国道3号線と交ります。近くにはドライブインや郊外レストランが目立って多くなりました。

市役所方面から旧国道3号線を北上しますといわね橋があります。そこの通りを左に入りますと中根俊吾先生が居られます。近くには裁判所や検察庁があり近くにはマンションや、ビルも建ち並んで居ます。往生院前には私田中宏が居りますが近くには歴史あるお寺

や熊大の附属中学校、小学校、京陵中学校が在ります。出町には三宮司先生、電通学園の近くには師井淳吾先生、分山登喜男先生が居られます。更に、この旧国道3号線を北上しますと四方寄の交叉点で国道3号線と交わります。この旧国道3号線は京町台を通って居り伝統を受継いだ由緒ある種々の店があり又住宅地でもあり、とても活気のある町筋です。又坂が多い所でも有名です。

京町台から上熊本駅の方へ下って行きますと駅につきあたって、鹿児島本線に沿って右の方へ行きますと志賀矩雄先生、又左の方へ行きますと寺脇博先生、県立体育館の近くには林田充成先生が居られます。

本妙寺通りに入りますと井芹川が流れていますが橋を渡らずに直ぐに右に入りますと稲葉逸郎先生この通りを金峰山登山口の方へ行きますと近くに武久省二先生が居られます。

熊本営林局の裏の高台には前国立熊本病院歯科に勤務されていた吉川知彦先生が居られます。鹿児島本線の北島の踏切を横切って小萩山の登山道路を養マス場の方へ行きますと前田久先生が居られます。以上会員の紹介をさせて頂きましたが、私達はバレーボール大会の通知がありますと、スポーツの好きな人達が集って練習をします。今年は県立体育館や城東校の体育館等で四回練習を行いました。和気あいあいの中にも気合いがこもっていました。

私達にとって一年を通じて唯一のスポーツの場であるバレーボール大会は今年で第9回目を迎えますが連続出場しています。力を合せて精一ぱい頑張りました。気持ちの良い汗を

流して今後の生活に英気を養って行きたいと思います。

大会を通じて誰とでも気軽に「今日は」とあいさつの出来る雰囲気は大変好きです。いつ迄もこの大会を続けて頂きたいと思います。

御家族の応援はとても私達を活気づけて下さいまして有難うございました。

今年活躍しました13名の選手の紹介を致します。

- | | | |
|----|------|--|
| 前衛 | レフト | 緒方敏克 (緒方歯科) |
| | センター | 稲葉逸郎 (稲葉歯科) |
| | ライト | 中川武文 (中根歯科) |
| 中衛 | レフト | 大嶋健一 (大嶋歯科) |
| | センター | 梅尾あゆみ (中根歯科) ・ 松岡成美 (中根歯科) |
| | ライト | 陣内照美 (稲葉歯科) |
| 後衛 | レフト | 松尾敦子 (稲葉歯科) ・ 片山睦美 (藤波歯科) ・ 田中宏 (田中歯科) |
| | センター | 藤波好文 (藤波歯科) |
| | ライト | 迫中由美 (中根歯科) ・ 宮田尚子 (藤波歯科) |



田中丸のもと年々上昇中ノ

七月七日熊本市歯科医師会主催に於るバレーボール大会が行なわれた。私が南部支部長になって初めてのバレーボール大会でしたので、選手集めや、練習場の確保等にたいへん心配したが、若い先生方や、技工士の方々の大なる御協力により、スムーズに選手も集まり、又練習場も各支部長の御好意により幾つか練習場を使用させていただき、例年になく練習出来た様に思われる。その為でもあるまいが、巷評では、優勝候補の一角とも言われ、かなりの期待であったが、残念ながら第一戦で、優勝候補の北部二チームにあたり惜敗した。しかしながら第三ブロックでは2勝0敗の成績で優勝を成し遂げ面目躍如と言ったところでした。南部支部では、歯科医師だけで一チームが出来程若い先生方が増え、営業面ではかなりきびしい面もあるが、こと

バレーボール大会の様な行事になると頼もしい限りである。

今大会に於て一つ希望するなら開催の時期をもう少し涼しい時にされるともっと多くの、家族の方や応援団の方を期待出来ると思われる。

最後に、御協力下さった諸先生、技工士の方、衛生士の方々に深く感謝致します。



富田支部長のもと勢ぞろい 来年も躍進を期待



西口先生の選手宣誓



椿先生より優勝旗の返還



中央 A に優勝旗授与

オットト!!



みごとストップ!

僕の番はまだかな!



両手にもらってニコリノ

学 術 講 演 会

歯科医師のための救急蘇生法

成 松 賢 二

さる、8月10日午後2時より、熊本県歯科医師会館3Fホールにおいて、熊本市学術講演会が開催されました。

今回は、講師として九州大学歯学部より岡増一郎教授をお迎えして、救急蘇生法の講演と実習、又、アシスタントの方には日赤より講師を迎え講演と実習を行なった。当日の講演要旨は次の通りです。

○医療事故の問題

週の前半に多い一疲れ・患者数
気腫・ジンパッカーによる死亡例
心疾患—ペースメーカーの注意点

○救急薬の説明

心臓作動薬	ボスミン	1 ml
血管収縮昇圧剤	エホチール	1 ml
強心喘息剤	ネオフィリン	10ml
副交感神経遮断剤	ハイスコ	1 ml
	硫酸アトロピン	1 ml
副腎皮質ホルモン剤	サクツゾン	500mg
		Vλ
	デカドロン	
合成副腎皮質ホルモン剤	ソルメドロール	
		125mg Vλ

○医療事故裁判の要点

カルテに処置事項を記載する。
日頃より救急蘇生などの講習会に参加しておく。

○心肺蘇生法実習

- ①気分が悪いとの訴えがあったら治療をやめ、座位より仰臥位にする。嘔吐、悪心があれば側臥位がよい。
- ②頭をさげる。毛布その他を重ねて足を高くあげる。
- ③患者のネクタイ、バンド、帯、コルセットなどをゆるめてやる。
- ④脈拍数、血圧、呼吸数をはかる。60以下の徐脈があればアトロピンを1筒(0.5mg)静注する。静注に時間がかかるようであれば筋注でもよい。アトロピン投与により血圧も改善されるが、最高血圧が70mm Hg以下であればエホチール $\frac{1}{3}$ 筒(3mg)を静注する。静注に時間がかかるようであれば半筒を筋注してもよい。
- ⑤以上の投薬で症状の改善がおそいときはデカドロン0.5mg/kg以上を静注してみる。
- ⑥ケイレンを繰り返すときはセルシン2cc(10mg)又はイソゾール2~4cc(50~100mg)を静注する。
- ⑦かかる処置の間に反対側の腕よりハルトマン液の点滴を開始する。クレンメは全開にして30分で500mlがはいる速さ(10cc/kg/30分)で滴下する。
- ⑧呼吸の抑制または停止があればすぐ人工

呼吸を行なう。その方法は

A 意識のない人には

- 1) Airway (気道の確保)
- 2) 頭を後上方に
- 3) 呼吸の有無

B 呼吸をしていればBreathing (人工呼吸) すばやく肺を4回ふくらませる。

C 脈をふれなければ…Circulation (循環) 胸骨を毎秒1回の速さで圧迫する。

1人の時…2回のすばやい肺ふくらましと15回/分の胸骨圧迫

2人の時…5回の胸骨圧迫毎に1回肺ふくらましをはさむ。

これを最低1時間は続ける。

会員多数の出席が有り、受講者はスタッフとのチームプレーにより実践さながらの奮闘ぶりであった。

心肺蘇生法

CARDIOPULMONARY RESUSCITATION

意識のない人には、まず

AIRWAY

気道の確保

- ①頭をうしろにそらせる
- ②呼吸の有無をしらべる

もし呼吸をしていなければ

BREATHING

人工呼吸 (口对口、口対鼻)

- ①すばやく肺を4回ふくらませる
- ②頸動脈をふれる

もし脈をふれなければ

CIRCULATION

循環 (胸骨大動脈)

- ①胸骨を毎秒1回の速さで圧迫する



症 例 研 究

熊本市社保委員会

歯科口腔衛生指導料

1 口腔につき40点

- (1)う蝕または歯肉炎患者に、口腔の状態などについて指導した時算定する。
- (2)初診月は算定できない。再診月に1回限り算定でき、2回目以降の指導料は算定できない。
- (3)歯周疾患で歯槽膿漏症指導管理料を算定した場合または老人保健法の場合は算定できない。
- (4)再診が電話等により行われた場合にあつては、算定できない。
- (5)20才までは、すべての病名(C、歯肉炎等)に算定してよい。21才～25才までは、歯肉炎または多発性う蝕、妊娠中などを、摘要欄に記載する。
- (6)指導内容は、カルテに記載する。

┌ D C₂

主訴 ┌ D Cの訴え

所見 ┌ D 広範囲な歯冠崩壊

	月日	部 位	療 法 処 置	点 数	一部負担 金徴収額
1 日目	7/30		初 診	160	
	/	┌ D	XYLOスプレー+2%キシロカインCt1.8ml浸麻	/	
	/		息 肉 除 去	/	
	/		C D T	/	
	/		即 処	120	
	/		連合 imp	50	
	/		B T	14	
	/		7月分 1日 344点		
2 日目	8/1		再 診	20	
	/		口腔衛生指導料	40	
	/		(ブラッシング・フォーンズ法を指導)		
	/		(母親にも子供のブラッシングについて指導)		
	/	┌ D	銀合金4%インレー (MODB) set	294	
	/		(グセ)	13	
	/		8月分 1日 367点		

社保委員会だより

- 被保険者証等により必ず資格の有無を確認して下さい。
- 保険者、受給者番号等の転記違いのないように、ご注意下さい。
- 明細書のたて計、横計の誤りのないように検算下さい。
- 明細書は、提出前にもう一度点検をお願いします。
- 投薬、注射の「規格、単位、用量」は正しく記入願います。

身心障害者（100分の50）加算について

- 著しく歯科診療が困難な身心障害者の100分の50加算は、抑制具等を用いた場合に算定するものであり、全身麻酔を行った場合は算定できない。
- 6歳未満の乳幼児が著しく歯科診療が困難な身心障害者である場合（100分の50加算）

は、乳幼児加算のみを算定する。

指導内容

- (1)間食を含む、規則正しい食生活について
- (2)ブラッシング指導（フォーンズ法、スクラッピング法、バズ法等）母親にも指導を行った場合は、そのむねカルテに記載。歯ブラシの使い方、歯ブラシ歯磨剤の選び方。
- (3)う蝕の全身に及ぼす影響について
- (4)心理的影響について
- (5)除石とその効果、目的について
口臭の原因、歯肉炎、美容
- (6)妊娠時の注意（プラークコントロールの重要性について）
等 ……

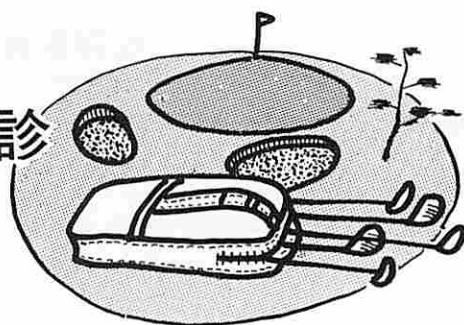
緊急お知らせ

空き巣ねらい横行す!!

熊本市内の歯科医院に空き巣ねらいが南下してきました。

従いまして、お手数とは存じますが、ご自宅と診療所が一緒の方で休日に留守にされる方は、前日の午前中までに市事務局（343-6669）へ御連絡下さいますようお願い申し上げます、尚一層の警戒をお願い致します。

本日休診



熊本県歯科医師写真同好会 (K.D.P.)

中川 順一

丁度3年前の昭和57年の秋に我KDPは発足いたしました。最初の頃は皆ひどいものでした。皆さんお笑いになると思いますが、ほとんどの者がフィルムの入替えが出来ない程で、絞りは、シャッタースピードはとたずねられて、「はあ？」と互いに顔を見合わず様な状態でした。またこういう事もありました。撮影会が終って作品が出来て見てもらっている時に、ある先生の作品がピントも合って、きれいに撮れていたので「よく撮れてるね」とよく見たらなんと日付が入っていたのです。

この様な状態からスタートした訳ですが、早くも3年が過ぎ、近頃では少し生意気になって光線の具合がどうのとか、バックがどうのとかあげくにはレンズがよくないとかフィルターがどうのこうのという位までになりました。

これもひとえに御指導をいただいている正木三郎先生のお陰なのです。

正木三郎先生は熊本市内下通りの城屋百貨店の近くで三郎写真館をされています。来

年は米寿を迎えられようという御高齢ながら写真に対する情熱はたいしたもので、未だに20代の気持でおられるのではないのでしょうか。よく寄る年波には勝てないといいますが、正木先生の場合にはまったく当てはまりません。かえって我々のほうが撮影会の時などは先生に付いて回るのが大変なくらいです。撮影時間にしても、先生の気にいったモデルであれば何時間でも我々が終わらましようかと言うまで次から次にと場所を変えて撮り続けられます。いつもこんな調子で先生の半分の年齢しかない我々10人が先生の後に引き摺られ、圧



倒されながら撮影している次第です。然し先生はテクニク的な事はほとんど教えて下さいません。それよりも写真を撮る時の姿勢、気持を教えてもらってる様に思います。ある時、撮影会の途中で雨が降り出して、逃げ込んだ或る場所で先生を囲んで写真のお話をしていただいた事がありました。写真がいかに素晴らしいものであるかとか、どんな気持で自分は写真を撮っているか等々たくさん話していただいたわけですが、その中で特に記憶に残っているのは、戦争の時に空襲でそれまで自分が撮って来た写真がすべて灰になってしまったという話でした。その話をされる時の先生の表情は本当に悲しそうでした。自分の息子を亡くした親の様な表情でした。それ



は先生の青春のすべてだったのでしょうか。然し今思うとその事によってかえって先生は精神的に老いる事なく、今日まで少年の様な若若しい気持を続けておられるのではないのでしょうか。それからもう一つ、記憶に残っているのが、これも戦前の話ですが、先生が天草でヌードの写真を撮っていたそうです。その頃の時代背景は戦後生まれの私には量りかねますが、大変な事であつたらうと思われま

とそこへ巡査がやって来たそうです。その巡査はすぐに中止する様に命令したそうですが、先生が自分の写真に対する気持を蕩々と説明したところその巡査も納得して人目に付かない所で撮影するならばと許してくれたそうです。それ程の正木先生の写真に対する情熱、真面目な姿勢、純粹さを我々は百分の1でも万分の1でも学びとろうと思っています。ヌードで思い出すのが2年半位前のことです。



別の撮影会でヌードがあるということで3・4人の先生と一緒に掛けていった事がありました。いざモデルの前に立ってみると今まで女性の顔ばかり撮ってますので面喰らってしまいました。とにかく体を入れて撮らなきゃいけないと思い全身の写真ばかり撮りました。そして写真が出来上って見ますと、何んの事はない唯々女性が裸で写っているだけで面白くもなんともないものでした。次の機会にまたヌードを撮りました。今度は少し考えてバストやヒップのラインを撮ってやろうと大写しにバストやヒップを撮ってみましたが出来上って見るとやっぱり写真一面にオッパイとお尻が写っているだけでした。それからこりごりして、ヌードを撮った事はありませんが、今にして考えてみると顔というもの

は元々表情が有るものですが、体には表情が有りません。その無い表情を作り出し見つけ出す事がまるで分っていなかった様に思います。そしてこの事は他の静物を撮る時にも言える事だと思います。景色を撮る時などいくら美しい景色だからといってそのまま撮っても絵ハガキか記念写真にしかなりません。そこで構図と光が大変重要になってきます。構図は後である程度トリミング出来ませんが光というものはそういう訳にはいきません。何時間何日何ヶ月或は何年とその光を待つ写真家も多いはずで。また広範囲に動き回ってその光を探す事もあります。とにかく写真にとって光というものが最大のキーポイントではないでしょうか。なんて大変分っている様な事を書きましたが私自身構図も分らなければ、その光、という、その、もまるで分っていません。まだまだこれから勉強しなければと思っています。

然し写真を始めてとても良かったと思っています。世の中が少し変わった様な気がします。例えば若い美しい女性を見た時に邪心ばかり



ではなく素直に美しいと思える様になりました。緑を見ればより緑に、花を見ればより可愛く見える様になりました。これも写真のお陰だと思います。これを読まれている先生でカメラを持った事のない方がいらっしゃいましたら一度何か写して見られるといいと思います。

それではKDPのメンバーと活動状況をお知らせします。

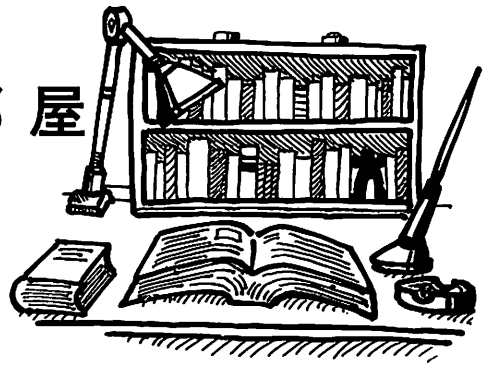
熊本市 宇治寿康・柿原康男・鈴木勝志
杉野陽二郎・坂本憲昭・緒方進
松本一之・太田憲生・中川順一
山鹿市 小島立州
玉名 増田憲元

○月1回撮影会 他に1回正木先生に作品を見てもらう。

○年に2回鶴屋、熊日画廊等で展示会

ご入会希望の先生がいらっしゃいましたらKDPメンバーの先生どなたでも結構ですからお知らせ下さい。

勉強部屋



前歯部反対咬合の難易度の見わけ方について

池上 富雄

1、はじめに

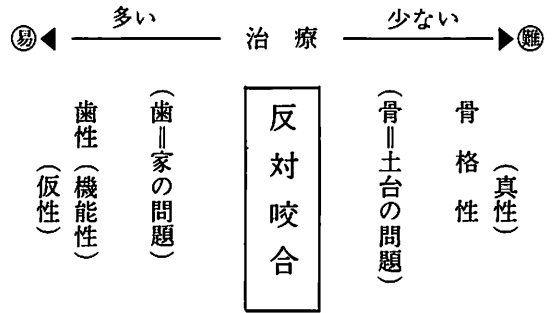
6～8才頃の前歯部交換期によく見られる不正咬合の1つに反対咬合がある。上顎前歯が下顎前歯を被蓋する正常な咬合とは、全く逆の前歯咬合関係を示すこの不正咬合は、外観が正常な咬合関係とは非常に異っている為、素人にも容易に指摘され得る。その為反対咬合を主訴として来院する患者が、来院患者全体に占める割合は一般に非常に高く、私の診療所に於いても約5割を占めている。一般に反対咬合は、欧米人（コーカシアン）に比べてアジア人（モンゴリアン）に多いといわれているが、実際に反対咬合患者の割合が全体の不正咬合の約半分を占める程多いかどうかは疑問である。これは、歯列矯正治療がまだ一般的とは言えない日本に於ては、よほど目につく不正でなければ治療の必要性を感じる事がない為、実際には反対咬合以外の不正咬合もけっこう多いにも関わらず歯科医を訪れるには至っていないというケースがかなりあるのではないかと考えられるからである。

日本に前歯部反対咬合が多いもう1つの理由に乳歯カリエスの多発が関係しているという説がある。これは乳臼歯の早期脱落が咬合高径の減少を招き、咀嚼く運動の際に下顎を前方に突き出して咬合する様になる為と考えられるからである。

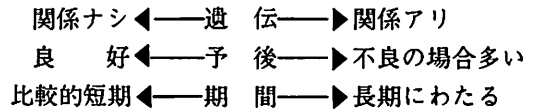
2、反対咬合の難易鑑別法

前歯部の反対咬合治療の難易度を判定する為に先ず知らなければならないのは、反対咬合には、大きくわけて骨格性 (skeletal) (真性ともいう) と歯性 (dental) (機能性又は仮性ともいう) の2つのタイプがあるという事である。前者は遺伝的素因が関与している事が多く、治療は顎骨の成長のコントロール(上顎骨前方成長の促進と下顎骨前方成長の抑制)を行わなければならない事が多く、容易ではない。家の建築に例えるならば顎骨は家を建てる為の土台であり、歯はその上に建つ家である。現在の矯正治療の技術をもってすれば歯を動かす事はそれ程難しい事ではないが、顎骨の成長を意のままにコントロール

するのはまだ殆ど不可能といわざるを得ない。つまり、家を建て直すのはそれ程難しくないが、(前後に)ずれた土台のバランスを修正するのは非常に困難なのである。患者にこの事を説明する場合、わかり易くする為、私はよく右の様な図を書いて説明している。



次に歯性が骨格性かの判断の目安となる点をいくつか挙げて表にしてみた。



	歯性 (=易しい症例)	骨格性 (=難しい症例)
1 顔 貌	閉口位ではほぼ正常	中顔面部の陥凹感及び頤部の突出感あり
2 前歯部	上顎切歯の舌側傾斜 下顎切歯の唇側傾斜 オーバーバイトは深い事が多い オーバージェットは小さい事が多い	上顎切歯の唇側傾斜 下顎切歯の舌側傾斜 オーバーバイトは浅い事が多い オーバージェットは大きい事が多い
3 臼歯部	正常な関係 (I級) 乳歯列ではターミナル プレーンがストレート	下顎臼歯の近心咬合 (III級) 乳歯列ではターミナルプレーンがメジアルステップタイプ
4 その他	構成咬合 (切端咬合) がとれる。 親族に反対咬合の者が いない。 舌の大きさは普通 臼歯部の被蓋は正常	下顎の後退がほとんど出来ない。 (構成咬合がとれない) 親族に反対咬合のものがある。 舌が大きい場合が多い 臼歯部まで切端か反対咬合の事が多い。

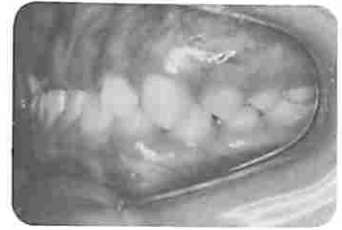
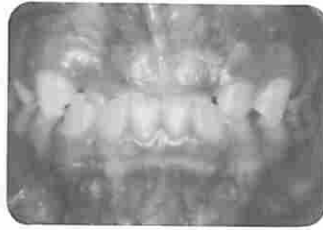
以上の中で、鑑別診断上最も重要と思われるのは、4に挙げた下顎の後方への誘導で、これに慣れれば特にセファログラムの分析を行わなくてもほぼ確実な鑑別を行い得る。実際閉口位でのセファロの分析を行っても下顎が前方位へ誘導された状態で撮影されてい

る訳であるから、余り参考にはならない。この場合は、機能分析を行う必要がある。

3、症例

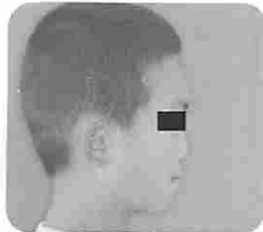
次に実際の症例を示すので前述の鑑別診断の目安を参考にして自己採点して頂きたい。

症例1 (13y 2m 女)



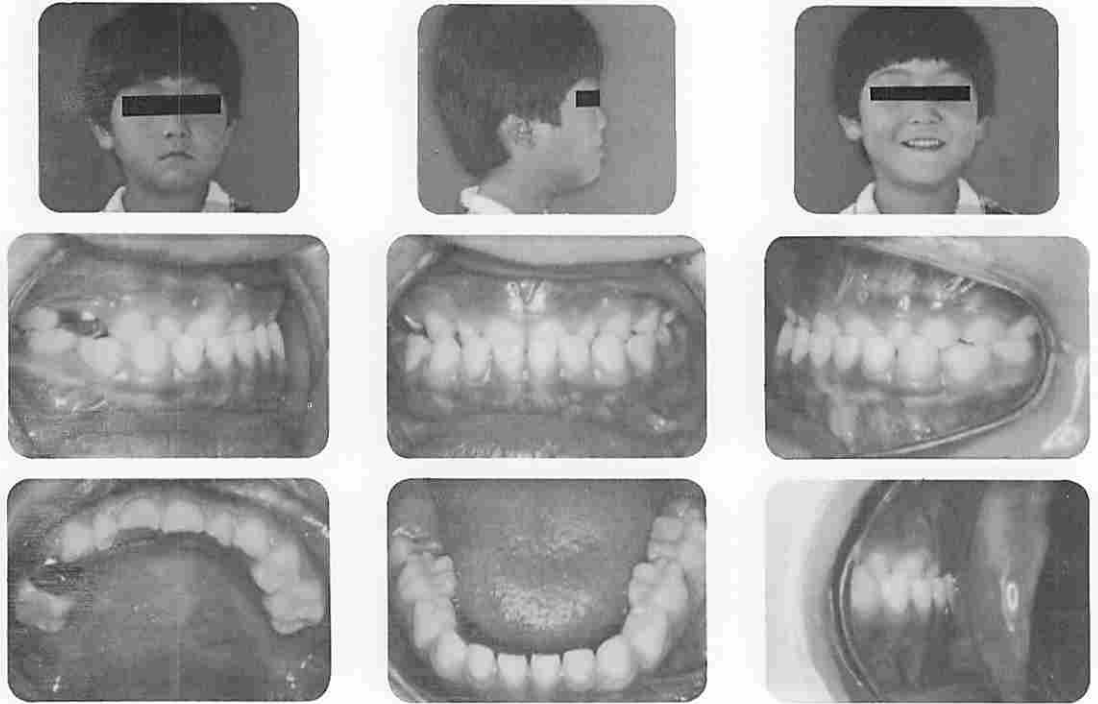
(1、易しい 2、中位 3難しい)

症例2 (9才♂)



(1 易しい 2 中位 3 難しい)

症例3 (6才♂)



(1 易しい 2 中位 3 難しい)

4、解説及び治療経過

症例1は比較的易しい症例である。鑑別診断の易しい方のそれぞれの項目の特徴にもよくあてはまる。側貌はほぼ正常でありオーバーバイトは深く、オーバージェットは小さい。臼歯部の関係は正常（I級）であり、この症例の不正の原因が主に上顎前歯の舌側傾斜によるものである事がうかがえる。治療は、上顎前歯を舌側弧線（リングル・アーチ）により唇側傾斜させると同時に下顎にchin-capを応用し、被蓋の改善を計り、その後Bracketをbondingし整列を行った。治療期間は約9ヵ月であった。この様な症例では後戻りの心配はまずない。



症例1 治療後（13y 11m）治療期間約9ヵ月

症例2は典型的な骨格性反対咬合の例で、治療は非常に難しいといってよい。側面観に

於て強度の上顎骨の劣成長が認められる。この症例に於ては、下顎の過成長よりもむしろ

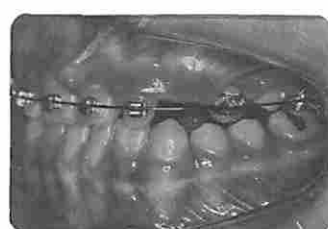
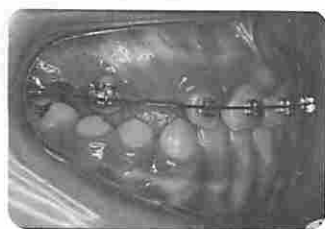
上顎の劣成長が反対咬合の主因であると診断された。従って治療法としては上顎の積極的な前方成長促進を主眼とした為、上顎骨の急速拡大法 (Rapid palatal expansion) と前方牽引用フェイスルマスクが併用された。約6ヵ月の徹底的 (1日20時間以上) なフェイスルマスクの応用により、一応の被蓋の改善を見たので、装置を除去しobservationに入った。現在は夜間のみchin-cap を装着して

もらい経過観察中である。

フェイスルマスク 上顎急速拡大装置 (R.P.E.)



(治療中)



症例2 (治療開始後約1年後、被蓋は改善した)

症例3は少々トリッキーな症例である。一見何の変哲もない乳歯の反対咬合で、中には何もせず放置し、観察するという治療方針を取るという方もおられるかも知れない。この

ケースでは乳歯の反対咬合自体は、前述の舌側孤線とchin-capの応用により約3ヵ月で被蓋の改善が見られた。しかしこれは予後が非常に気かりなケースなのである。



(治療中——chin-capと舌側孤線により約3ヶ月で被蓋は改善した)
現在は夜間のみchin-capを使用させ経過観察中である。

次の図は患者の母親の顔貌及び口腔内写真である。

この患者が13～15才の思春期性成長のスパート期に母親より受けついで遺伝的素質を表わさないという保証はどこにもない。この様な

ケースでは、前もって遺伝的素質の影響についての説明を充分に行い、一旦は被蓋が改善されても思春期に後戻りをする可能性があるという事に対する保護者の了解を得た上で治療に着手する事が肝要と思われる。



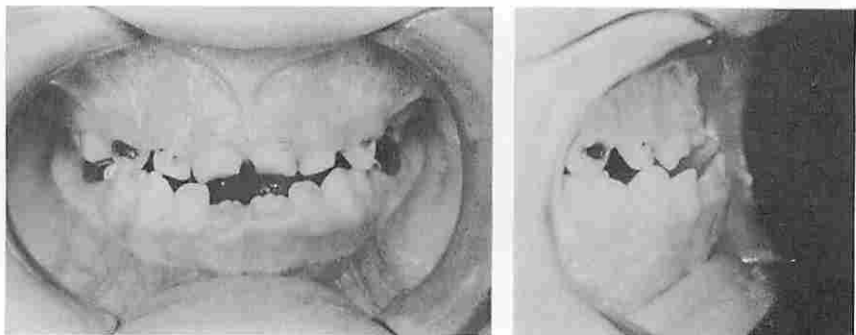
(症例3の母親の顔貌及び口腔内写真)

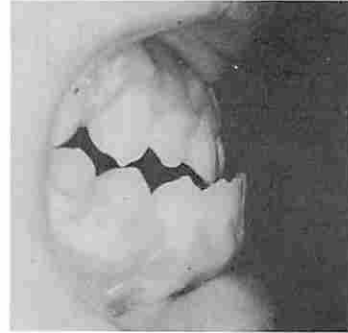
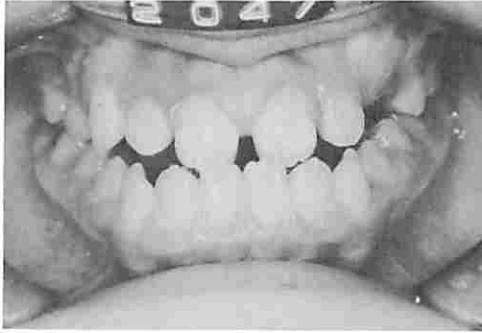
5、おわりに

次に示す症例は、約12年間の長きに互り、骨格性反対咬合者の治療経過を追ったものである。10年近くもchin-capを使用したにもかかわらず、大学入学後外科的処置により咬合

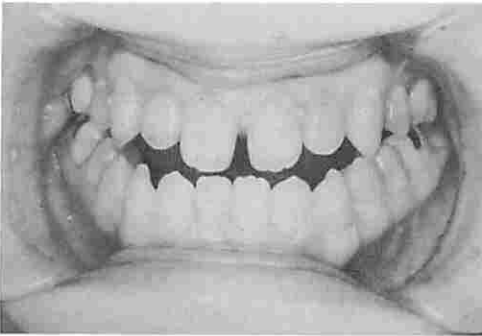
の改善を行わざるを得なかったこのケースは、長期に互って、個体の成長、発育に参与しながら治療を行っていかざるを得ない矯正臨床の難しさを無言のうちに語っている様である。

6歳8ヵ月



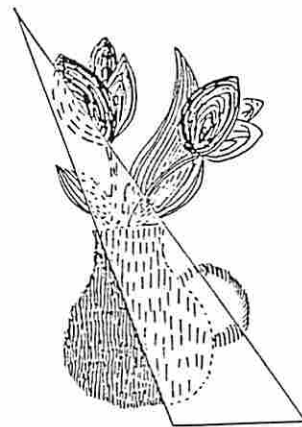


12歳7ヵ月



18歳1ヵ月

初診6歳8ヵ月。chin-capにより顎発育の抑制を計るが、思春期に既に矯正治療の限界を越す。成長終了後(大学受験後)、外科的矯正法により治療したケース。



新樹会第3回例会

合 沢 康 生

新樹会では、昭和60年9月7日(土)、午後4時より、五峯閣にて、宇治県歯会長出席の下に、第3回例会を行った。演者は、県福祉生活部保険課より、小牟禮課長と、吉川厚生省技管の御二方を招いて、社会保険、厚生年金に関する内容のものでした。最初に、小牟禮課長より、社会保険制度に関すること、又年金に関する話があり、高齢化する社会に於て我々若年者の重要な役割についての話があり次いで技管の吉川先生より、保険者サイドによる診療報酬明細書の間違い易い所、又誤って請求される主なる内容についての話があり、さっそく、明日からの診療に役立つ話があり、

ました。

次いで、県政連の鬼塚副会長による、次期参議院選挙の為の、関口恵造先生を当選させる為の重要な話があり、第3回の例会を修了しました。

講演会終了後、小牟禮課長と吉川技管を囲んで、なごやかな雰囲気の中、会場を別室に移して、会食を行い、雑談に花が咲き、第3回例会を終了しました。

尚、第4回例会は、10月20日(日)、工大高グラウンドに於て、ソフトボール大会を予定しております。より多くの先生方の参加をお願いいたします。



東部Ⅲ支部親睦旅行

松原邦衛

東部三支部では昨年にひき続き好評だった親睦旅行が去る九月二十八日(土)二十九日(日)の両日天草松島で行なわれました。生憎の雨の天候でしたが、参加者十九名で二十八日午前中の診療を終え、京塚バス停に午後四時集合し旅館の送迎バスで一路目的地に向いました。朝から降り続く雨、明日の魚釣、ゴルフの予定が気掛りで車中、ビール、ジュース等を飲みながら心配そうな顔で外の景色で(雨)を眺めながら午後六時十五分到着しました。温泉でゆっくり日頃の疲れをいやし、午後七時

も忘れマージャンに夢中な先生もおられた様です。

翌日、心配していた天候もすっかり回復し、魚釣、ゴルフの絶好日和りで朝七時から釣船二艘で二号橋あたりまで行き釣りを始めました。途中一時間位で船酔いさされ下船された先生もおられましたが、釣果は小鯛、フグ数匹でした。ゴルフの先生方は十一時に旅館を出発し大矢野町の鮮やかな緑の芝で十二時プレー日頃の成果を精一杯発揮された様です。皆さん仕事も忘れ、それぞれ楽しい二日間を過ごされた事と思います。



渡辺太郎先生の乾杯で宴会に入り、天草の新鮮な海の幸をいただきながら、先生方の自己紹介、雑談に花が咲き、酒の量もかなり進み「アッ、と言う間の二時間でした。その後汐の香りにのせられ、散歩がてらに近くの飲み屋に行かれたり、明日の予定に備えて早く休む先生もおられました。反面、夜の更けるの

お知らせ

学校医謝礼金基本額

項目	年度	金額 (円)								
		52	53	54	55	56	57	58	59	60
学校医謝礼額 (円)		83,000	92,000	104,000	116,000	130,000	143,000	148,700	151,700	156,800
アップ率 (%)			10.8	13.0	9.6	12.0	10.0	3.9	2.02	3.36
管理校医手当 (円)		10,000	11,000	12,000	13,000	14,000	15,000	15,000	16,000	17,000
アップ率 (%)			10.0	9.1	8.3	7.6	7.1		6.6	6.25

※校医謝礼金額については平均基本額 (601人～900人)

300人以下	152,800円	} 内科、眼科、耳鼻科、歯科
301人～600人	154,800円	
601人～900人	156,800円	
901人～1,200人	158,800円	
1,201人～1,500人	160,800円	
1,501人～1,800人	162,800円	

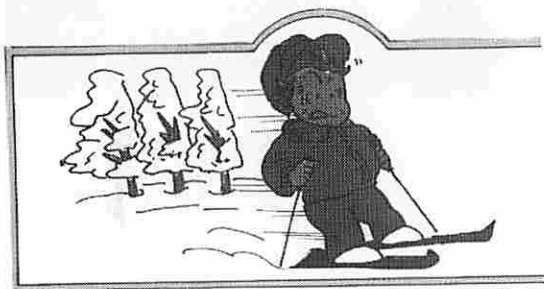
出動費 8,600円 1回につき

スキー同好会スキーツアーのお知らせ

ほら聞こえてくるよ。ゲレンデにこだまする歓声。

そこは一面の銀世界。

スキーは貴方をとりにする事でしょう



来年2月20日(木)より23日(日)迄

場所 北海道トマム又は
新潟苗場プリンス

募集期間 クリスマス迄

連絡先 大嶋歯科医院
大嶋健一

TEL 096-343-7007

ドクター、ファミリー、アシスタント皆さんの参加を待っています。

新入会員紹介



1. 氏 名 前 野 正 春

2. 住 所

(自 宅) 熊本市清水町新地701~53

TEL 344-5422

(診療所) 同 上

TEL 同 上

3. 生年月日 S .22.4.25生

4. 趣 味 旅 行

5. 好きな言葉 知力・勇気・忍耐・仁愛・気品

6. 経 歴 S .47.3 日本大学歯学部卒

S .47.4 日本大学歯学部補綴学教室助手

S .50.9 日本大学松戸歯学部歯周学教室助手

S .52.2 前野歯科医院勤務

S .57.12 歯学博士

S .60.4 開 業

7. 家族構成 (氏名・生年月日・続柄)

前 野 明 美 (S .23. 8.29生 妻)

前 野 奈 美 (S .50.12.29生 長女)

前 野 光 洋 (S .55.11.14生 長男)



1. 氏 名 井 尾 治 雄

2. 住 所

(自 宅) 熊本市水前寺5丁目17の18

TEL 383-6241

(診療所) 熊本市高江町1250-19

TEL 352-4533

3. 生年月日 S .30. 5.31生

4. 趣 味 ゴルフ

5. 好きな言葉 特になし

6. 経 歴 S .58.3 福岡歯科大学卒業

S .58. 6 渡辺歯科(若葉1丁目)勤務

S .60. 7 高江歯科医院開院

7. 家族構成(氏名・生年月日・続柄)

井 尾 有 輝 子 (S .30. 8.18生 妻)

井 尾 年 希 (S .59. 1.30生 長男)

井 尾 重 雄 (S .3 . 5.29生 父)

井 尾 税 子 (S .2 . 8. 8生 母)

井 尾 和 雄 (S .27. 8.21生 兄)



1. 氏 名 大 村 順 子

2. 住 所

(自 宅) 熊本市武蔵ヶ丘1丁目325番地 TEL 338-9281

(診療所) 熊本市竜田町上立田辻の内1473-3 TEL 338-5389

3. 生年月日 S .28. 2.27生

4. 趣 味 読書

5. 好きなことば 特にありません

6. 経 歴 S .53. 3 九州大学歯学部卒業

S .53.4 ~S .55.3 千葉県内の開業医にて勤務

S .55.4 ~S .58.8 出産・育児の為休職

S .58.9 ~S .59.9 大阪府内の開業医にて勤務

S .59.10~ 楠歯科クリニックにて勤務

7. 家族構成(氏名、生年月日、続柄)

大 村 春 孝 (S .26.12.26生 夫)

大 村 真 矢 (S .55. 9.23生 長女)

大 村 光 春 (S .57. 9. 1生 長男)



1. 氏 名 真 鍋 嘉 之

2. 住 所

(自 宅) 熊本市健軍3丁目1-19コーポ工藤 TEL 369-9494

(診療所) 熊本市栄町1の12 TEL 367-4575

3. 生年月日 S .21.12.10生

4. 趣 味 将棋 旅行

5. 好きなことば 寛容

6. 経 歴 S .45 同志社大学工学部卒

S .50 神奈川歯科大入学

S .56. 卒業

S .58.まで 横須賀医療法人慶明会にて勤務

7. 家族構成 (氏名、生年月日、続柄)

真 鍋 貞 子 (M .43. 8.21生 母)

真 鍋 希和子 (S .33. 1. 1生 妻)

真 鍋 圭 史 (S .60. 3.25生 長男)



1. 氏 名 川 元 幸 雄

2. 住 所

(自 宅) 熊本市上熊本3-19-21 TEL 355-7591

(診療所) 同 上 TEL 353-0888

3. 生年月日 S .29.11.28生

4. 趣 味 旅行、ドライブ、スポーツ

5. 好きなことば 温故知新

6. 経 歴 S .55.3 日本大学松戸歯科部卒業

S .55.4 日本大学松戸歯学部勤務

S .58.4 東京都千代田区パレスサイドビル歯科勤務

S .60.4 日本大学歯学部矯正学教室入局 (研究生)

7. 家族構成 (氏名、生年月日、続柄)

川 元 直 子 (S .29.11.18生 妻)

川 元 麻衣子 (S .59. 2. 5生 長女)

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
7月18日	市町村国保運営協議会の構成について 各種委員会事業報告
8月22日	熊本市健康教室講師依頼について 各種委員会事業報告

口 腔 衛 生

月 日	協 議 題
7月25日	フッ素塗布の実施方法について
8月27日	幼稚園フッ素塗布日程について
9月11日	市立幼稚園フッ素塗布の件

医 療 管 理

月 日	協 議 題
8月7日	歯科医業経営実態調査書案内状作製について
8月30日	歯科医業経営実態調査書回収について
9月18日	歯科医業経営実態調査書統計の役割分担について

広 報

月 日	協 議 題
7月15日	会誌52号編集
7月26日	会誌52号校正
9月13日	会誌53号編集について
10月2日	会誌53号編集と会員名簿について

厚 生

月 日	協 議 題
8月20日	バレーボール反省会
9月19日	70才以上の実態調査について 新年パーティーの日程について

学 術

月 日	協 議 題
8月2日	救急蘇生法と講演会のアンケートについて
10月1日	10月23日の講演会とアンケートについて

社 保

月 日	協 議 題
7月23日	症例研究について
8月8日	〃

学 校 歯 科

月 日	協 議 題
8月23日	はみがき訓練指導 日程連絡事項について
9月13日	はみがき指導、公衆衛生とフッ素塗布について
9月27日	ライオンブラッシング指導日程について

編集後記

秋まっ盛りといった感じですが巷では気の早いのももう忘年会の予約をしています。

会誌53号が少々遅れて発行になりました事をお詫び致します。会誌を通じまして会員皆様の連帯感が強まればと思っているのですがここ数年新入会員の先生方が増加してまいりましたので名簿作製、会員配置図の再編集を準備中です。 広報委員会

熊本市歯科医師会会誌

第 53 号

発行日 昭和60年11月6日発行

発行所 熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

発行責任者 川崎正士

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木3丁目12-37

TEL (353) 1291